

令和2年度使用小学校教科用図書 調査研究報告用紙

種目	音楽
----	----

※発行者番号の小さい順に記入

発行者番号・略称 書 名	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
17 教出 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽を形づくっている要素」「音楽のもと」の名称を用い、紙面右上に示し、意識して学習できるようになっている。 ・日本の伝統音楽の表現の特徴や魅力を感じることが出来るように、箏、篠笛、大鼓など多様な和楽器が取り上げられている。 ・全ての学年で、英語の歌が掲載されている。共通曲「全校合唱」や、様々なジャンルの曲が取り入れられ、行事や他教科等へ広がりやすい。 ・共通事項の内容を巻末の「音楽のもと」まとめて掲載している。見開き右ページ上「音楽のもと」があり、中・高学年はメモを書く欄がある。
27 教芸 小学生の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーのタンギングの学習では、児童が音の出し方をイメージしやすいようにイラストと文で分かりやすく説明している。 ・「新しく覚えること」として、音楽を形作っている要素、音符、休符などが示されている。 ・巻頭には「音楽の木」を掲載し、1年間の見通しが持てる。学習の目標や具体的活動例、資料などが掲載されている。 ・郷土の民謡を歌ったり、おはやしの音楽作りがされたりしている。郷土や日本の伝統音楽の特徴に目を向かせるようになっている。 ・学年間の関連を系統立ててあり、児童の発達段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み上げていくことができる。 ・紙面がすっきりとしていて見やすくなっている。文字の大きさやバランス、色使いがよい。歌詞が見やすい。 ・情景や心情を感じたり想像したりしやすい挿絵や写真が使われている。印刷は鮮明で明るい色調である。 ・見開き右ページ下に音楽を形作っている要素が示されている。共通事項が全ての題材の支えとなり、繰り返し学習できる。